

## あわれみ深い神

(マルコ1・40～42)

## 一、イエス・キリスト

聖書に拠れば、イエス・キリストは、神が人となられたお方です。ということとは、イエス・キリストを見るならば、天地万物を造られた神がどのような方であるかが分かる、と言うことになりま。イエス・キリストはおよそ三十歳にして、ご自分に授けられた使命を実行に移されました。主イエスが語られ、なされたことが、短い言葉でまとめられています。それは、「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」(マルコ1・15)です。平たい言葉に言い換えるなら、次のようになります。「神の時が来ました。神が近づかれました。神に顔を向けて、神が授けられる救いを受け取りなさい」と。

## 二、ツアラアト

マルコの福音書1章40節をご覧ください。〈さて、ツアラアトに冒された人がイエスのみもとにお願いに来て、ひざまずいて言った。〉とあります。〈ツアラアトに冒された人〉とは、どういう人なのでしょう。新改訳改訂第二版は、〈さて、ひとりのらい病人が、イエスのみもとにお願いに来て、ひざまずいて言った。〉です。〈ツアラアトに冒された人〉は、今日の言葉で言う「ハンセン病にか

かった人」です。しかし、イエスの時代にイスラエルにハンセン病があったかどうかは、分かりません。ましてや、この言葉の元になっているのは旧約聖書ですが、紀元前のイスラエルには、ハンセン病は存在していなかったようです。ちなみに、新約聖書の言葉は「レプロス」で、「レピス」(鱗)からできた言葉です。皮膚が鱗のようになってしまうことから、「レプロス」という言葉が生まれたようです。名詞形は「レプラ」です。そういうわけで新約聖書は、この皮膚病の外面的な症状から、「レプロス」、鱗のようになる病気と呼んだようです。

しかし、単なる皮膚病ではありませんでした。そこには、宗教的な意味が課せられていました。レビ記13章45節に、〈略〉ツアラアトの者は、自分の衣服を引き裂き、その髪の毛を乱し、その口ひげをおおって、『汚れている、汚れている』と叫ばなければならぬ。とあります。ツアラアトに冒された人は単なる病気ではなく、「汚れている」と宣告された病」でした。なぜ、このような理不尽な言葉が旧約聖書にあるのか、私共には分かりにくいのです。推測になりますが、イスラエルという、主なる神を信じる共同体を守るために、神が示された知恵だったのかも知れません。

## 三、ツアラアトの人

旧約時代以降、その人がツアラアト

であるか否かの判定をしたのは宗教儀式を司る祭司でした。祭司から「あなたはツアラアトだ」と宣告されたら、その人は家族から引き離され、隔離されなければなりません。しかも「汚れている、汚れている」と叫ばなければなりません。だれの前に「汚れている」のでしょうか。聖なる神の前に、です。そうしますと、自分たちが信じている神の前に、自分は汚れているということになり、生きていくことに希望を見いだせなくなります。そういう、ツアラアトに冒された人が主イエスのところに進み出たわけです。彼は、決死の覚悟で主イエスの前に進み出ました。

その時のツアラアトの人の気持ちを、新改訳2017は次のように言い表しています。同じく40節です。〈さて、ツアラアトに冒された人がイエスのもとに来て、ひざまずいて懇願した。『お心一つで、私をきよくすることがおできになります。』と。この、〈ひざまずいて懇願した〉に、彼の決死の気持ち表れていると思われ。ツアラアトの人は、主イエスに特別なものを見いだしたようです。『お心一つで、私をきよくすることがおできになります』と語ったからです。原文は「もしご意志なら、私をきよめることができます」です。彼は主イエスに、神のご意志をあらわし、それを実現することのできる権威を見ています。

## 四、わたしは望む!

すると主イエスは、どうなさったでしょう。41節です。〈イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼にさわって言われた。『わたしの心だ。きよくなれ。』とあります。〈深くあわれみ〉の元の言葉(スプラグニズマイ)は「はらわたが動かされる」です。すなわち、痛みを抱えている人を見て、居ても立ってもいられなくなることです。神の子イエスは深い同情を持っておられるがゆえに、じつとしていられないのです。

主イエスはツアラアトに冒されている人のこれまでの労苦を思い、深い同情を寄せられました。そして、語られました。「わたしの心だ。きよくなれ」と。原文は「わたしは望む。きよめられよ」です。すると、どうなったのでしょうか。42節です。〈すると、すぐに、そのツアラアトが消えて、その人はきよくなつた。〉とあります。主イエスに出会うことにより、決して解決しない問題が解決しました。ツアラアトが治るとは、単なる病のいやしではありませんでした。「汚れている」という、特殊な状況から「きよめられ、社会生活が回復されることでした。

「あなたを助けた。あなたが抱えている問題を解決したい」。これが、神の御思いであることはたしかです。